

日刊ジャーナル

ジャーナル社 発行人 井出正義 火～土曜日発行
TEL 0268-23-6632 (3連休にならない発行)
田市中央 6-18-18 FAX 0268-26-1403 購読料/1カ月1280円(税込)

JRC 次世代技術をかたちに
上田日本無線

http://www.ujrc.co.jp

農地の上で太陽光発電

ソーラーシェアリング

一般社団法人・自然エネルギー共同設置推進機構(NECO) 上田市常田Ⅱは2日、「ソーラーシェアリングサミット2017 in 上田」を塩田の里交流館とつこ館で開いた。

昨年(2016年)に引き続き、積極的な導入が期待されている。

上田市で昨年からは実践している手塚の合原亮一さんの水田「空田丸(そらだまる)ソーラーシェアリング発電所」の結果に注目が集まった。合原さんはIT企業(株)カリレオⅡ上田市常磐城Ⅱの代表で、有機農業にも取り組む。ソーラーシェアリング用のシステムも開発中。自らの水田の中に50kW規模のパネルを設置している。

クーターが作業できる空間を設けるのが特徴。売電収入があるため、新規就農の促進や耕作放棄地解消、日陰を必要とする栽培植物への

合原さんは「農業をしている人が将来にわたって続けられるようになる方法」と思っている。その場合、自分で作れて修理できるもの

たつて続けられるようになる方法、たと思っている。その場合、自分で作れて修理できるもの

のとして、簡単な単管パイプの構造にした。米は光が必要な作物なので、米でできればほかの作物でもできる」と語る。

昨年の結果として、パネルの下は、パネルがない周辺部の収量差



語り合う講師。発言する長島さん(マイク持つ)、その右が合原さん

が6・3%少ない程度で、パネルの下は生育がやや遅れるとした。パネルの角度を調節し、水田への影の部分が30・8%と33%、60・9%部分の3パターンで実験し、収穫量の違いは予想に反して影の多い方が若干多い結果になった。

今年(2017年)は昨年の結果を踏まえてパネルの向きなどを変更して実験を継続している。冬に架台が一部倒壊した失敗事例も紹介したが、終始科学的なデータに基

づく説明だった。県外からの講師は、昨年に続きソーラーシェアリングの考案者の長島彬・CHO技術研究所代表や実践者で市民エネルギーちほの東光弘代表のほか、脱原発を掲げる城南信用金庫の吉原毅顧問(元理事長)や千葉エコー・エネルギーの馬上丈司代表らが発表。22世紀を目指した環境から考えた農村づくりや、ソーラーシェアリングで栽培した大麦でビール醸造などの事例が紹

市町村長 きょうの主な日程

- ◆東御市長 午前9時 庁議
- ◆同日 午後1時半 エフエムと生活支援整備事業協議体会議(総合福祉センター)
- ◆長和町長

受領 ◆坂城町長 午後2時 課長会議

「秋」。読み方が音で「飽き」というところから、男女の情がさめていくとき「秋

手造り料理で おもてなし

居酒屋 あ

Since 1973

かたえ 清酒「鼎」が、いつでも飲める店

営業時間/17:00~23:00
上田駅前 ローソン地下 お問い合わせ0268-24-4116

介され、さまざまな未来に向けた話題で盛り上がった。問い合わせTEL 0268-75-5896(NECO)。TEL 0268-22-6211(カリレオ)

といった▼漢の武帝にかわいがられた女が、別の女性の出現で見捨てられる。「怨歌行」という恨みの詩を作った。その中でわが身を「秋扇」